

## 霞が関働き方改革推進チーム（第3回）議事概要

○日時：平成29年2月28日（火）14:00～16:45

○場所：コクヨ霞が関オフィス

### ○概要

1. 先進的な働き方をしている民間企業への訪問結果を共有。
2. 前回に引き続き、ファシリテーターによる進行のもと、10年後の理想の中堅・若手行政官の姿と、現状とのギャップやギャップが生じている原因についてグループで議論をしたところ、挙げられた主な意見は以下のとおり。
  - ①理想：場所・時間に関係なく働ける  
原因：公務における「成果」の定義が難しく、成果主義の発想になりにくい
  - ②理想：自律的に仕事を進められる  
原因：本気で働き方改革をやらないといけないという意識がない、短期的な結果にしか目を向けない
  - ③理想：業務の効率化・見える化・共有化により、特定の職員への業務の偏りをなくし、部下の育成・能力向上に目を向けることができる  
原因：他律的業務が多い、業務が細分化・専門化し、他の人からは業務量がわかりにくかったり、知見を共有しにくい
  - ④理想：労働時間ではなくアウトプットで評価される、政策提言の業務にリソースを重点的に投入できる  
原因：コスト意識の欠如、リスクヘッジのための過剰品質、優先順位を付けられていない
3. さらに、具体的な改善策について議論。挙げられた主な意見は以下のとおり。
  - ・ワークライフバランス推進月間を利用して、期間中に発生したムダな仕事・やり方をリスト化し、どのようにムダが生じさせずにやるかも含めて書き出す。
  - ・幹部の意識変化を促して危機感を高めるため、先進的な働き方をしている民間企業を訪問させて、よい取組を1つ選ばせて実際にやらせる。
  - ・優先順位を共有するためのチェックシートを作ったり、共有フォルダに保存するファイル名のつけ方をルール化して業務効率化を図る。省内勉強会でこれまでの苦労した点を共有し、部下育成に役立てる。
  - ・各個人や課レベルでの優先順位付け、マネジメント能力を重視する人事評価を行う。

引き続きチャット型クラウドボードを活用してグループごとに議論を継続し、次の会議では各グループの議論のまとめを発表することとなった。

以上